



2021(令和3)年度

2022. 3月 特別号

保野っ子だより

藤沢市立保野小学校

校長 東 麻子

< 2021年度 学校づくりアンケート調査のまとめ >

今年度もよりよい学校づくりをめざして、12月に学校づくりアンケートを実施しました。初めて、オンライン調査としました。保護者の方々にとって、紙での調査よりも便利かと思いましたが、実際は回収が進まず、何度もご協力をお願いすることになりました。おかげさまで、アンケートの集計が終わりましたので、結果をお知らせします。

このアンケートは、学校運営や教育活動のふりかえりや改善の参考にするとともに、学校、地域、保護者の皆様との連携協力による開かれた学校づくりの推進に活用することを目的としています。

対象：児童・・・3年生と5年生の全児童

保護者・・・3年生と5年生の全保護者

地域代表として・・・学校評議員・PTA代表 のみなさま

保護者アンケートにつきましては、児童と同じ学年の保護者に実施し、児童との関連関係を含めて分析しています。

評価項目は、今年度は昨年度とほぼ同じ内容で、経年での調査を鑑みています。

評価基準については、「よくあてはまる◎」「だいたいあてはまる○」「あまりあてはまらない△」「まったくあてはまらない×」の4段階としています。

結果については、よくあてはまる◎とだいたいあてはまる○の割合を数値で掲載しています。

A. 3年生・5年生の保護者	3年◎・○	5年◎・○
(1) 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	98%	92%
(2) 学校は、子どものことについての相談に応じている。	100%	95%
(3) 学校は、楽しく分かりやすい授業をめざしている。	100%	92%
(4) 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる。	98%	90%
(5) 子どもは、学校が楽しいと言っている。	91%	82%
(6) 子どもは、給食の時間を楽しみにしている。	83%	97%
(7) 子どもは、学校のようすを話してくれる。	91%	84%
(8) あなたは、子どもの交友関係を知っている。	81%	84%
(9) あなたは、子どもからの配布物に目を通してしている。	81%	92%
(10) あなたは、学校行事やPTA活動に参加するようにしている。	86%	87%

保護者のアンケートからは、(1)から(4)の項目では、両学年とも、本校の教育方針をよく理解し、学校を信頼してくださっていることが今年度もわかりました。また、今年度も新型コロナウイルス感染症対策が必要な期間が長く、制限のある中ではありますが、保護者やPTAだけでなく地域の方々も学校の教育活動を支援してくださり、協力的な風土の中で、教育活動を進めることができることをありがたく思っています。

(10) 学校行事やPTA活動への参加についても、5年生の回答で5%の伸びがありました。子どもたちの学校での姿や成長を保護者のみなさまに知っていただく機会を大切にしたいと考え行事等を計画しています。また、PTAでも「参加しよう！できることを少しずつ」をスローガンにボランティア活動を取り入れ、活性化を図っています。多くの保護者の協力をいただき、ありがとうございました。今後も、ぜひご参加をお願いいたします。

一方、保護者の方々からご覧になった子どもたちの様子では、(6)給食の時間を楽しみにしているの3年生の回答では10%の減少が見られました。食事自体のことではなく、黙食を続けているためかと考えます。児童の回答では、昨年度の回答とほぼ同じ数値になっていました。

また、(8)子どもの交友関係については、3年生で14%、5年生で8%の減少があり、見えにくくなっていることが心配です。実際の学校での友だち関係だけでなく、PCゲーム上でのコミュニケーションなどが進み、面識のない人とのつながりも増えているようです。トラブルの原因にならないように、ご注意いただければと思います。

幸い、校内でいじめに関する事例は年間を通して、上がっていません。年3回の学校生活アンケートで、心配事のあった場合は、一つずつ解決に向けた働きかけをしています。学級担任だけでなく、学年や児童支援担当、スクールカウンセラーなどと連携し、ご家庭と相談しながら対応をしています。また、タブレットを利用した市教育委員会の相談フォームでの相談もできるようになりました(1月中と3月23日まで)。引き続き、指導や支援体制の強化に努めます。ご心配なことがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

(9)学校からの配布物については、3年生で10%減少しています。児童の回答(14)では、昨年より6%の減少です。学校でも声かけをしていきます。ご家庭でも、きちんとプリントを見せるようにお話ししてください。

B. 児童3年(41名)・5年(43名)	3年◎・○	5年◎・○
(1) 先生や友だち、学校へ来た人にあいさつしています。	93.2%	91%
(2) 1, 2年生や、こまっている子に親切にしています。 (自分より下の学年の子や、こまっている子に親切にしています。)	95.1%	93.4%
(3) こまったときに、話を聞いてくれる友だちや先生がいます。 (こまったときに、相談できる友だちや先生がいます)	93.7%	86.4%
(4) 学校の目標を知っています。	95.1%	88.7%
(5) 休み時間は楽しいです。	95.1%	88.2%
(6) 給食の時間は、楽しみです。	95.2%	91%
(7) 友だちときょう力して、様々な活動をしています。	92.7%	93.2%
(8) 係りの仕事を、進んでやっています。 (委員会活動に進んで取り組んでいます。)	85.4%	88.7%
(9) 学校の勉強はわかります。	92.7%	81.8%
(10) 勉強でわからないところは、先生や友だちに聞いています。	83.7%	83%
(11) 学校生活の中で、よいところをほめられたことがあります。	95.1%	75%
(12) 上の学年の人たちに、やさしくしてもらったり、助けてもらったりしたことがあります。 (学校生活の中で、6年生と協力して活動しています。)	58.8%	59.6%
(13) 家で学校の様子を話したり、聞いてもらったりしています。	83%	79.5%
(14) 学校からの手紙やテストなどのプリントを、家の人に見せています。	90.3%	79.5%

児童のアンケートにおいては、制限のある学校での活動が影響している回答が顕著になっています。全校で集まることや異学年交流などを控える期間があったため、上級生の責任感や下級生へのやさしい気持ちを感じる機会が少なくなりました。

また、特に高学年はコロナ禍以前の学校生活との違いやがまんすることが多くなっているため、ストレスや残念な気持ちが多くなっていないか、気になります。そのような中でも、できる範囲で、上級生の心構えや責任感、思いやりや人とのかかわりのよさを感じる心に子ども自身が気づいている様子をうれしく思いました。

そして、「困っている子に親切にする」の5年生の回答は18%増でした。また、両学年とも「こ

まったことがない」との回答も多くなっていました。引き続き、親切にする気持ちや態度、いつでも相談でき、安心して過ごせる環境づくりに努めます。

「あいさつができる」「友だちを大切にする」という子どもの様子は本校がめざす子ども像です。常に9割以上が「あいさつをしている」と回答しています。元気なあいさつを自然にできる児童が多いと感じています。引き続き、あいさつの大切さを伝えていきたいと思います。また、あいさつをしていない児童については、朝の表情や日々の生活態度から睡眠不足の改善や生活習慣の見直しが必要なのではないかと考えました。

(4) 学校目標については、5年生が昨年度よりも37%増の回答でした。「えがお あいさつ けじめ 学びあい」のフレーズは子どもたちに浸透していることがわかりました。そして、実際の行動につながるよう、根気強く働きかけていきたいと思います。

(7)「友だちと協力して活動する」(8)「委員会活動に進んで取り組む」では、5年生がそれぞれ8%増と5%増の回答でした。助け合って取り組む姿が多く見られます。一方、3年生の(8)の回答は13%減でした。友だちと積極的にかかわることが苦手な児童がいたり、まだ主体的に行動する経験が少ないためと考えます。コミュニケーション力の育成においても、支援を工夫していきたいと思います。

学習に関しては、(9)「勉強がわかる」については、3年生9割、5年生8割強の回答がありました。授業中発言したり、落ち着いた態度で学習に取り組んでいます。しかし、(10)「勉強でわからないところを先生や友だちに聞く」ことの回答が3年生8%、5年生5%の減となりました。5年生は、算数の少人数指導を2年生と4年生で経験していますが、一斉授業の中で、わからないところをそのままにしまわないように声かけをしたり、わかりやすい授業を目指し、基礎基本の定着を図ります。また、学習形態の工夫や個別の指導・支援に取り組んでいきたいと思います。

(12)「上の学年の人たちに優しくしてもらった」3年33%と5年3.4%の減となりました。交流機会の減少、3年生と6年生の交流機会が少なかった結果と考えます。

(13)「家で学校の様子を話したり聞いてもらったりする」については、3年生で34%減でした。昨年度は、休校期間が長かったので、会話が少なかったのかもしれませんが。

5年生が2年前3年生で回答した内容と比較してみると、「困っている子に親切にする」の数値は、11%伸びていました。一方、前述のように、「勉強でわからないところを先生や友だちに聞く」は数値が下がっています。学校生活においては、高学年としての役割をしっかりと果たしつつあることがわかります。また、学習面においては、内容が難しくなる一方、自分から聞かないためわからないところをそのままにしがちである傾向が今年も見られました。難しくなるからこそ、日々の積み重ねが大切になります。今後、6年そして中学校での学習につながるよう学習習慣をもつことも指導をしていきたいと思います。そして、難しくても、学習に粘り強く取り組む姿勢も養う必要も感じています。

そして、基礎学力の向上や「理解できた・わかった」気持ちが学習意欲を高めることにもつながるので、発達段階に応じた適切な働きかけをしながら、子どもの可能性を伸ばしていきたいと思います。

教職員のアンケートからは、昨年度の経験を生かしながら、概ね計画に沿った教育活動を進めることができたこと、児童支援や指導に関しても、保護者や地域のご協力もいただき、対応することができているととらえていることがわかりました。

新学習指導要領の実施2年目となりました。また、GIGAスクール構想、タブレットの導入が進み、授業等での活用も始まりました。教職員も研修を行い、授業に取り入れています。長期化してしまう欠席の子どもとの連絡や学校の様子を伝える手段にもしています。子どもたちにとって、ゲームのためではなく、勉強の道具として、健康面や安全にも配慮した利用をしていきます。

マスク着用が長期化し、人の表情を読み取ることが難しいこと、コミュニケーションや人とのやりとりが少なくなっていることが子どもたちの社会性を育む上で、気になります。本校は小規模校なので、これまでも、特に異学年交流などを活かして、意識的に「かかわり」を経験する機会を作り、大切にしています。学校目標の「友だちを大切にする」につながるよう、人にやさしく、協力する気持ちや、かかわりを楽しむ心を育てていきたいと思います。

C. 学校関係者（学校評議員・PTA 役員代表 6名分）	◎	○
(1) 学校は、教育目標や方針、行事等の情報をわかりやすく伝えている。	100%	
(2) 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる。	67%	33%
(3) 学校は、地域の特色や教育力を学習や行事に生かしている。	83%	17%
(4) 学校全体の雰囲気がよく、子ども達は生き生きしている。	67%	33%
(5) 子ども達は、挨拶ができ、礼儀正しい。	50%	50%
(6) 子ども達は、やさしく親切だと感じる。	33%	67%
(7) 子ども達は学習態度がよく、まじめに取り組んでいる。	50%	50%
(8) 子ども達は、楽しく学校行事に参加している。	83%	17%
(9) 教職員たちは、子ども達をよく理解してくれている。	100%	
(10) 家庭や地域でも、子どもの安全には協力して対応している。	83%	17%

学校関係者のアンケートでは、今年度もすべての項目で、「よくあてはまる◎」「だいたいあてはまる○」の回答をいただきました。項目(1)(3)(4)(8)(9)(10)では、昨年よりも◎が増となっています。本校の教育活動にご理解をいただき、支持していただいていることをありがたく感じます。2月の学校関係者会議が書面開催となり、話し合いができなかったのが残念ですが、来年度の学校運営の準備にあたり、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

(5)(6)は、直接、子どもたちの様子を見ていただく機会が少なくなったせい、○が増となりました。校外で、あいさつをかわす機会は少ないかもしれません。通学時や放課後の遊び方について地域の方々にご心配をおかけしたり、ご迷惑になったとお知らせいただくこともありました。保護者のみなさまとともに子どもたちの健やかな成長をめざして、マナーや公共心、あいさつのよさを伝えていきたいと思ひます。

D. 自由記述・学校関係者評価委員会（学校評議員会）のご意見

- ・学校教育目標にそった子どもたち（あいさつがよくできる）が多く、気軽に話しかけてくれる。心配なのは、コロナ禍のため外で遊ぶ子が少ないように感じます。ぜひ、地域を巻き込んだ教育を続けていただきたいと思ひます。何か機会があれば、お手伝いしたいと思ひます。
- ・昨年度のアンケート結果からも、保護者や子どもたちの声や状況に対して、真摯に受け止め、丁寧に対応されていることがうかがわれます。私たち評議員にもいつも心温まる対応をいただいています。昨年度からコロナ禍で園児との交流ができず、とても残念でしたが、評議員会に行くのがとても楽しみでした。
- ・学校評議員を受け1年、2年間にわたるコロナ禍で、楽しみにしていた学校訪問は、1回のみでした。そのような状況下で、意見などを述べるのはとても心苦しい限りです。毎月、学校から届けていただく学校だよりは子どもたちの学校での様子が詳しく書かれていて、思いを馳せながら読ませていただいています。ありがとうございます。地域での子どもたちの様子ですが、自治会の催し物も中止が多く、外で遊んでいる姿も見ることが少なく残念に思っています。子どもたちも様々な場面での生活が制限され、それなりに目には見えないところでストレスを抱えていることでしょう。その影響が子どもたちの将来に出ないように願うばかりです。教育現場もいろいろ変わる中、ご苦労がおりだと思ひます。教職員の皆様におかれましては、どうぞご自愛下さい。一日も早いコロナの収束そして今までのような子どもの姿が見られますように。
- ・今年度は昨年度よりさらに学校へ行く機会が減り、残念でした。2年も続くコロナ禍で、もはや何が通常だったのかわからなくなりそうですが、残りの行事が予定通り行えることを願っています。（特に6年生の修学旅行はぜひとも！！）

以上、学校づくりアンケートでみなさまからいただいたご意見から、2021年度の学校運営をふりかえりました。成果と課題を受け止め、今後のよりよい学校づくりの参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。